

平成 27 年 6 月 5 日
株式会社 七十七銀行

「みやぎ復興・地域活性化支援ファンド」による水戸屋開発株式会社への投資決定について
～魅力ある観光地づくりに貢献する秋保温泉旅館の中期経営計画を支援します～

株式会社七十七銀行(頭取 氏家 照彦)、株式会社日本政策投資銀行(社長 橋本 徹)、株式会社地域経済活性化支援機構(社長 瀬谷 俊雄)が共同出資する「みやぎ復興・地域活性化支援ファンド」は、本ファンドの第2号案件として、水戸屋開発株式会社(本社 仙台市太白区、社長 山尾 直嗣)に対して5億円の投資を決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本ファンドは、被災地域の復興や成長に資する事業を行う企業の資金調達ニーズに迅速かつ柔軟に対応し、地域経済の復興や活性化を支援するため、平成26年12月に設立されたものです。

当行では、今後とも本ファンド等を活用し、企業と地域経済の更なる発展に向けて積極的に取り組んでまいります。

記

1. 水戸屋開発株式会社は、宮城県の代表的な温泉地である秋保温泉において、大型旅館「ホテルニュー水戸屋」および純和風の小規模高級旅館「茶寮宗園」を運営しており、露天風呂等が高い評価を得ています。
2. 当社は、平成26年5月に「ホテルニュー水戸屋」にプリフィクススタイル(注)のレストラン「思いのまま」をオープンするとともに、仙台の伝統野菜や三陸の水産物等の地元素材を活かした料理を提供することで、地域貢献と顧客満足向上の両立を図っています。
3. 今般、当社は、「感動していただける食事と空間」、「豊かで美しい温泉」、「高品質のおもてなし」に磨きをかけ、お客さまに更なる感動を提供するため、中期経営計画「Challenge!2018」を策定しました。今後も、地元の食材を活かした料理の提供に加えて、多様な研修等を通じた接客力の向上、WEB予約を活用した新規顧客の獲得等、新たな施策を積極的にすすめていく計画です。
4. 「みやぎ復興・地域活性化支援ファンド」では、魅力ある旅館づくりを積極的にすすめる当社の中期経営計画をファイナンス面から支援することが、宮城県の観光業の復興・活性化に寄与するものと判断し、ファンドの設立趣旨に沿って、本件投資を決定したものです。

注. プリフィクススタイル

数種類あるメニューの中から、好きな料理を自由に組み合わせてオリジナルのコースを組み立てるスタイルをいいます。

(参 考)

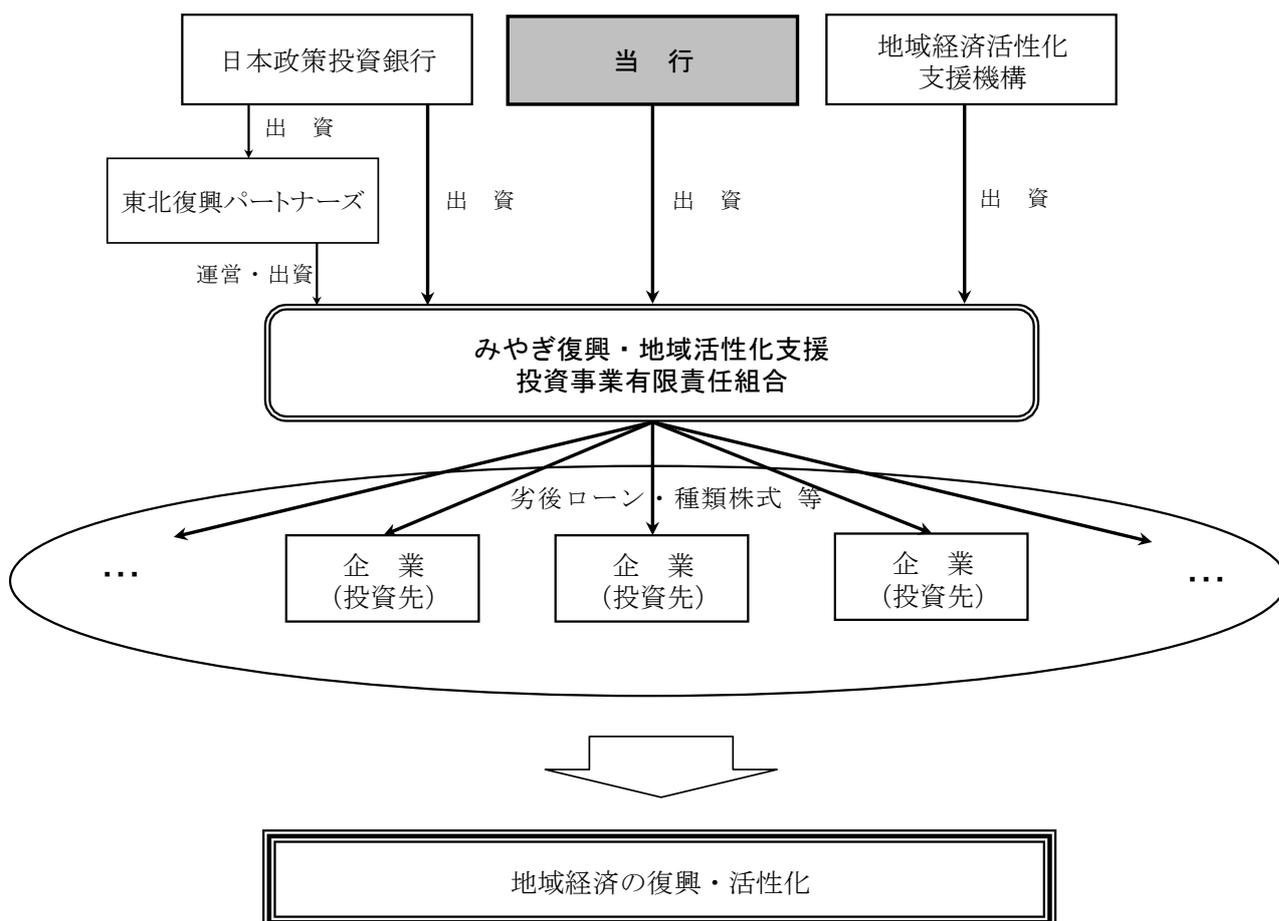
1. 「みやぎ復興・地域活性化支援ファンド」の概要

- (1) 名 称 みやぎ復興・地域活性化支援投資事業有限責任組合
- (2) 設 立 日 平成 26 年 12 月 8 日
- (3) 規 模 50 億円
- (4) 出 資 者 無限責任組合員：(株)東北復興パートナーズ (注)
有限責任組合員：当行、(株)日本政策投資銀行、(株)地域経済活性化支援機構

注. (株)日本政策投資銀行 100%出資子会社です。

- (5) 期 間 存続期間：7 年 4 ヶ月 (1 年以内の延長を行うこともあります)
投資期間：5 年 (2 年以内の延長を行うこともあります)

2. ファンドスキーム



以 上